

点検・評価報告書（総合社会情報研究科）

基準 1 理念・目的

1 現状分析

点検・評価項目①

大学の理念・目的を適切に設定すること。また、それを踏まえ、学部及び研究科の目的を適切に設定し、公表していること。

<評価の視点>

- ・大学が掲げる理念を踏まえ、教育研究活動等の諸活動を方向付ける大学の目的及び学部・研究科における教育研究上の目的を明らかにしているか。
- ・理念・目的を教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表しているか。

① 学部等ホームページに、以下の項目を掲載し、社会に公表していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科ごとの教育研究上の目的

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。
 一部の項目を掲載していない。
 その他回答

② 履修要覧に、以下の項目を掲載し、学生に周知していますか。

- (1) 日本大学の目的及び使命
- (2) 日本大学の教育理念
- (3) 日本大学教育憲章
- (4) 学部においては、学部、学科ごと、研究科においては、研究科、専攻の課程ごと、短期大学部においては、学科、専攻科の教育研究上の目的

[自己評価]

- 全ての項目を掲載している。
 一部の項目を掲載していない。
 その他回答

2 長所・特色・問題点

なし

基準 2 内部質保証

1 現状分析

点検・評価項目①

内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。

<評価の視点>

- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価をそれぞれ定期的実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。
- ・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。

③ 学部等において、PDCAサイクルをどのように機能させているか、内部質保証体制（内部質保証推進委員会、自己点検・評価委員会、各委員会組織、教授会、執行部会等の役割や関係性）や、活動内容について記述してください。

内部質保証の体制を確保するため、通信教育部自己点検・評価委員会、FD専門委員会及びIR専門委員会から報告のあった内容について、通信教育部内部質保証推進委員会にて対応を指示するという体制を整備している。

なお、重要案件は大学院分科委員会にて報告、対応を指示するという体制を整備している。また、その他案件は事務局執行部会及び通信教育学務委員会で審議している。

④ 三つの方針について、どの組織が、どのように検証しているか記述してください。

「入学者の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）」については、研究科内における入学試験委員会が管轄し、入学試験において当該方針に即した選抜が行われることを保証している。

次に「教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」については、研究科内における専任教員会議が管轄し、各年度の開講科目についても同ポリシーを遵守しながら専攻主任を中心とした検討が行われ、専任会議にて決議される。

最後に「学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）」については、各研究指導担当教員が同ポリシーに基づいて論文の可否を判断し、その判断については研究科内における専任会議が協議、審査することで、当該方針に即した学位授与が行われることを保証している。

また、先述の各ポリシーを統括する委員会・会議における協議内容は、研究科内の分科委員会に必ず報告又は審議されるため、独立した1つの会議又は委員会における決議のみで確定することのない組織構造を確立している。

⑤ 外部評価を実施（令和3年度から令和5年度までの期間）している場合、点検・評価項目を記述してください。

実施していない。

⑥ 外部評価の結果、改善・向上に取り組んだ事項について記述してください。

実施していない。

⑦ 今後、外部評価、分野別評価、法科大学院認証評価、JABEE認定を受審する予定があれば記述してください。

現時点で予定していない。

⑧ 教育の質の向上を図るために、学生からの意見を取り入れていますか。取り入れている場

合は、その内容を具体的に記述してください。

毎年度末に履修科目に対する授業評価アンケートを学生向けに実施し、その結果を各担当教員に対して個別にフィードバックを行うとともに、大学院全体のFD研修会においても定量評価の部分については専攻ごとに平均値を共有し、専攻ごとの強み・弱みを可視化できるように努めている。

点検・評価項目②

大学の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしていること。

＜評価の視点＞

- ・教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。
- ・教育研究活動の情報として、学生の学習実態、学習上の成果に関わる情報を社会に分かりやすく公表しているか。

⑨ 学部等ホームページに公表している学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に定める以下の教育情報は、最新の情報に更新されていますか。

- (1) 教育研究上の目的
- (2) 教育研究上の基本組織
- (3) 卒業の認定に関する方針
- (4) 教育課程の編成及び実施に関する方針
- (5) 入学者の受入れに関する方針
- (6) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績
- (7) 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数
- (8) 卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況
- (9) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画
- (10) 成績評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準
- (11) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境
- (12) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用
- (13) 修学支援、生活支援、進路支援その他の学生支援

[自己評価]

- 全ての項目が更新されている。
- 一部の項目が更新されていない。
- その他回答

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い、改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

- ・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し、その結果に基づき、教育

の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪ 学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

通信教育部自己点検・評価委員会を設置し、内部質保証システムの適切性について検証し、改善・向上に取り組むこととしている。さらに、FD活動で実施内容の共有を行っている。

2 長所・特色・問題点

なし

基準3 教育研究組織

1 現状分析

点検・評価項目①

大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況が適切であること。

<評価の視点>

- ・大学の理念・目的を踏まえ、また、学問の動向や社会的要請等に配慮した上で、教育研究組織（学部・研究科や附置研究所、センター等）を構成しているか。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

⑫ 学問の動向や社会的要請等に対応すべく、学科や研究所の新設、学科の改組等、教育研究組織の見直しについて、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

博士前期課程及び博士後期課程共に学科の新設や改組には至っていないが、点検・評価する際には、研究科長をはじめ博士前期課程及び博士後期課程の専攻主任を中心に検証している。

研究組織について、研究倫理教育や研究不正、研究費の適切な執行等については、通信教育部の教員と総合社会情報研究科の教員で構成された研究委員会及び研究委員会コンプライアンス専門部会を設置している。また、「人を対象とする研究」の実施については、研究科に研究倫理審査委員会を設け、学生・教職員の研究内容を点検している。

令和5年度から通信教育部と大学院総合社会情報研究科と共同で「日本語教師養成」に関する

る研究プロジェクトを設置した。文化庁での届出受理を得て、日本語教師養成研修機関として新しい教育プログラムの提供を開始した。

研究組織の点検・評価については、大学院総合社会情報研究科と合同の研究委員会にて、研究不正や研究費の適切な執行の観点から点検評価を行っている。不正が認められた場合には、研究委員会コンプライアンス専門部会を中心に点検評価を行っており。問題が生じた場合等について、改善点を検討し実行する体制を整備している。

研究委員会による点検・評価を踏まえ、学内研究費の取扱い等について、国や私立大学事業団委員の意向や本部の方針と合わせ、委員の意見を聴取しながら「研究費の取扱いの手引き」について、毎年改訂を行っている。

2 長所・特色・問題点

なし

基準4 教育・学習

1 現状分析

点検・評価項目①

達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的な在り方を示していること。

<評価の視点>

- ・卒業の認定に関する方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成及び実施に関する方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。
- ・上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。

[卒業の認定に関する方針について] (修士・博士・専門職学位課程)

⑳ 課程・専攻ごとに定めていますか。

[自己評価]

- 定めている。
- 定めていない。
- その他回答

㉑ 「学生が修得すべき知識」、「技能」、「態度」等、当該課程・専攻にふさわしい学習成果を示していますか。

[自己評価]

- 示している。
- 見直す必要がある。
- その他回答

㉒ ステークホルダーが見て、分かりやすく、理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

- なっている。

- 見直す必要がある。
その他回答

[教育課程の編成及び実施に関する方針について] (修士・博士・専門職学位課程)

②⑥ 課程・専攻ごとに定めていますか。

[自己評価]

- 定めている。
定めていない。
その他回答

②⑦ 卒業の認定に関する方針との関連性が明確ですか。

[自己評価]

- 明確である。
見直す必要がある。
その他回答

②⑧ 卒業の認定に関する方針に基づき、「教育課程の体系」、「教育内容」、「教育課程を構成する授業科目区分」、「授業形態」、「学修成果の評価」を示していますか。

[自己評価]

- 示している。
見直す必要がある。
その他回答

②⑨ ステークホルダーが見て、分かりやすく、理解しやすい表現・内容となっていますか。

[自己評価]

- なっている。
見直す必要がある。
その他回答

点検・評価項目②

学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。

<評価の視点>

- ・学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成及び実施に関する方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

③⑩ 各授業科目は、授与する学位（又は、課程・専攻）と整合していますか。

[自己評価]

- 整合している。

見直す必要がある。

その他回答

⑳ 各授業科目は、体系的に編成されていますか。

[自己評価]

編成されている。

見直す必要がある。

その他回答

㉑ 各授業科目の到達目標が、シラバスに明示されていますか。

[自己評価]

明示されている。

見直す必要がある。

その他回答

㉒ 各授業科目は、学習時間を考慮し、授業期間及び単位が設定されていますか。

[自己評価]

設定されている。

見直す必要がある。

その他回答

点検・評価項目③

課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。

<評価の視点>

- ・授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成及び実施に関する方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。
- ・授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。

㉓ 学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性を踏まえた対応をしていますか。

[自己評価]

対応している。

見直す必要がある。

その他回答

㉔ シラバスは、学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容ですか。

[自己評価]

十分である。

見直す必要がある。

その他回答

③⑥ 学生が意欲的かつ効果的に学習できるように、以下の項目について取り組んでいますか。

(1) 授業の履修に関する指導

(2) 学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認

(3) 授業外学習に資するフィードバック

[自己評価]

全ての項目について取り組んでいる。

一部の項目について取り組んでいない。

上記以外の事項について取り組んでいる。

その他回答

点検・評価項目④

成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っていること。

<評価の視点>

- ・ 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。
- ・ 成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。
- ・ 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。
- ・ 学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。
- ・ 卒業の認定に関する方針に則して、適切に学位を授与しているか。

③⑦ 成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施していますか。

[自己評価]

実施している。

見直す必要がある。

その他回答

③⑧ 成績評価及び単位認定に係る基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示していますか。

[自己評価]

明示している。

見直す必要がある。

その他回答

③⑨ 既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を、客観的かつ厳格で、公正、公平に行っていますか。

[自己評価]

- 行っている。
見直す必要がある。
その他回答

④⑩ 学位授与における実施手続及び体制が明確ですか。

[自己評価]

- 明確である。
見直す必要がある。
その他回答

[研究指導計画について] (修士・博士課程)

④⑪ 研究指導計画を大学院要覧に明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
明示していない。
その他回答

④⑫ 研究指導計画には、入学から学位取得までの研究指導の方法、内容及びプロセスを明示していますか。

[自己評価]

- 明示している。
見直す必要がある。

研究指導計画という名の下での明示ではなく、課程修了による学位授与の手続として概略的に記載しているため（特に博士前期課程大学院要覧）、研究指導計画としての内容も詳細に網羅できるような記載に修正したい。

その他回答

点検・評価項目⑤

卒業の認定に関する方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価していること。

<評価の視点>

- ・学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。
- ・学習成果を把握・評価する指標や方法は、卒業の認定に関する方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。
- ・指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、学部として設定する目的に応じた活用を図っているか。

④⑬ 学習成果を把握・評価する目的や指標、方法について記述してください。

各科目における学修成果の把握・評価については、担当教員が事前に示したシラバスにおける学修到達目標及び成績評価基準に沿って把握・評価している。

④④ 上記指標や方法を用いて把握・評価した学習成果を、学部等でどのように活用しているか記述してください。

学習成果の把握・評価については、担当教員の判断に委ねていることから、指標等を用いた学習成果の組織的な活用等を行えていない。

[学位論文審査基準について] (修士・博士課程)

④⑤ 学位論文審査基準をホームページに公表していますか。

[自己評価]

公表している。

公表していない。

その他回答

④⑥ 学位論文審査基準を大学院要覧に明示していますか。

明示している。

明示していない。

その他回答

④⑦ 学位論文審査基準には、以下の項目が明示されていますか。

(1) 学位論文が満たすべき水準

(2) 審査体制

(3) 審査方法 (項目)

[自己評価]

全ての項目を掲載している。

一部の項目を掲載していない。

その他回答

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。
- ・課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。
- ・自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。

⑤① 教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等について記述してください。

通信教育部自己点検・評価委員会が企画及び実施する「自己点検・評価」という名目にて、大学院総合社会情報研究科独自の点検・評価は実施していないが、専攻主任及び教務課による学務打合せ及び専任会議等において、日頃から教育課程及びその内容、教育方法等の適切性について検討及び改善等を行っている。点検項目や基準及び周期等は、必要に応じて上記打合せ及び会議等にて判断し実施できる体制を整えている。

⑫ 点検・評価するに当たり、学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報をどのように活用しているか記述してください。

学習成果の測定・評価結果や活用については、設問No.⑬及び⑭にて回答したとおり、組織的な把握や活用ができていない現状である。また、点検・評価や検証等を行うに当たって主に活用しているデータとしては、授業評価アンケートを授業改善、カリキュラムの検討及び学事日程等の検証のために活用している。

⑬ 教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に当たり、自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

各専攻主任が中心となり専攻のカリキュラムを検証し、4専攻主任が集まる「学務打合せ」において研究科全体のカリキュラムについて検証している。

現状では、令和8年度カリキュラム改定に向け、教育課程の編成・実施方針との整合性を確認しつつ、科目の内容、配置等について、専任教員を中心に検討している。

2 長所・特色・問題点

なし

基準5 学生の受け入れ

1 現状分析

点検・評価項目①

入学者の受け入れに関する方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施していること。

＜評価の視点＞

- ・入学者の受け入れに関する方針は、学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。
- ・入学者の受け入れに関する方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。
- ・入学者の受け入れに関する方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。
- ・入学者選抜に当たり、特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。
- ・全ての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。

⑭ 入学者の受け入れに関する方針を学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定していますか。

<p>[自己評価]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>設定している。</p> <p><input type="checkbox"/>設定していない。</p> <p><input type="checkbox"/>その他回答</p>
<p>⑤⑤ 入学者の受入れに関する方針には、卒業の認定に関する方針及び教育課程の編成及び実施に関する方針を踏まえた「入学前の学習歴」、「学力水準」、「能力等の求める学生像」及び「入学希望者に求める水準等の判定方法」を志願者等に理解しやすく示していますか。</p> <p>[自己評価]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>示している。</p> <p><input type="checkbox"/>見直す必要がある。</p> <p><input type="checkbox"/>その他回答</p>
<p>⑤⑥ 入学者選抜を、体制・仕組みに基づき公平、公正に実施していますか。</p> <p>[自己評価]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>見直す必要がある。</p> <p><input type="checkbox"/>その他回答</p>
<p>⑤⑦ 入学者選抜に当たり、特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備していますか。</p> <p>[自己評価]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>整備している。</p> <p><input type="checkbox"/>見直す必要がある。</p> <p><input type="checkbox"/>その他回答</p>

<p>点検・評価項目②</p> <p>適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していること。</p> <p><評価の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学者数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。

大学基礎データ（表2）

研究科・課程	入学定員充足率の5年平均 (令和2年度～令和6年度)	収容定員充足率 (令和6年度)
総合社会情報研究科（博士前期課程）	0.66	0.71
総合社会情報研究科（博士後期課程）	0.87	1.11

<p>⑤⑧ 「大学基準協会の評価の指針」により、定員超過あるいは定員未充足の場合は、どのような対策をとっているか記述してください。</p> <p>該当なし</p>

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑤ 学生の受け入れに関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生の受け入れについては入学試験委員会が管轄し、同委員会内で随時点検・評価を図っている。具体的には令和6年度より入学試験における英語の免除対象者について「大学卒業後3年以上の者」又は「職歴・業務歴3年以上の者」と定め、受験希望者への提供情報を明確化した実例がある。

2 長所・特色・問題点

なし

基準6 教員・教員組織

1 現状分析

点検・評価項目①

教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。

<評価の視点>

- ・「学部等教員組織編制方針」に基づき、教員組織を編制しているか。
 - ▶専任教員数の遵守、教員の構成
 - ▶教育効果に配慮したクラス編成、専任教員の授業負担への配慮
 - ▶教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化
 - ▶教員の資質向上
 - ▶その他、学部等として重視するポイント
- ・教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。
- ・T A、S A又はG S Aを置いている場合、ガイダンスや研修を実施した上で業務をさせているか。

(修士・博士課程)

63 各専攻における研究指導教員数は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
 一部の専攻において満たしていない。
 その他回答

(修士・博士課程)

64 各専攻における教授数は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
 一部の専攻において満たしていない。
 その他回答

(修士・博士課程)

65 各専攻における研究指導教員数及び研究指導補助教員数の計は、設置基準を満たしていますか。

[自己評価]

- 全ての専攻において満たしている。
 一部の専攻において満たしていない。
 その他回答

67 特定の教員に過度な授業負担が生じないように、どのように配慮しているか記述してください。

大学院総合社会情報研究科では通信教育部同様に、「教員の勤務に関する内規」及び「通信教育部専任教員の勤務に関する申合せ」に基づき、教員の基準授業時間「毎週 10 時間（5 講義）」を基本とし、学内においては 8 講義以上を担当することを目標としている。ただし、学内外を含めて 10 講義までとすることで、調整を図っている。

68 教育研究活動を実現するために、教員と職員とがどのように役割分担をし、それぞれの責任を明確にし、協働・連携しているか記述してください。

年間を通じて本研究科の学務事項等を共有している専攻主任及び教務課職員による「学務打合せ」の場において、学事暦に沿った事項及び人事を含むカリキュラム事項等について P D C A を実行している。その中で専任教員は、学務、入試及び広報等の細分化された役割を分担し、それらに関係する会議体に係る資料を職員がまとめている。さらに 4 名の専攻主任と事務職員は、教育研究活動において、日々密接に連絡を取ることで協働・連携を図っている。

研究活動においては、職員は研究資金の情報収集と発信、資金管理及び情報発信等の支援を担い、教員は研究資金申請、研究活動及び成果報告・発信の役割を分担し、連携している。

69 T A, S A 又は G S A を置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。

置いていない。

点検・評価項目②

教員の募集，採用，昇任等を適切に行っていること。

＜評価の視点＞

- ・教員の募集，採用，昇任等に関わる明確な基準及び手続に沿い，公正性に配慮しながら人事を行っているか。
- ・年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また，性別など教員の多様性に配慮しているか。

⑦ 教員を採用するに当たり，どのような方法（公募等）で募集しているか記述してください。

各専攻主任からの紹介を基に，採用面接を実施し，選考を行っている。

⑧ 「教員の募集」，「教員の採用」及び「教員の昇任」について，明文化された基準及び手続に従い公正に行っていますか。

[自己評価]

- 公正に行っている。
- 基準や手続き方法を見直す必要がある。
- その他回答

⑨ 教員の年齢構成に著しい偏りがないように，どのように取り組んでいるか記述してください。

通信教育部同様に教員配置計画を基に年齢構成や充足定員が欠けることのないよう，他学部との連携も含めて運用している。

⑩ 教員の男女比に著しい偏りがないように，どのように取り組んでいるか記述してください。

男女比について明確な基準等は示していないが，通信教育部及び大学院総合社会情報研究科内の構成に偏りがなく，年齢構成・多様性等を十分に考慮している。

⑪ 大学院担当教員の資格審査基準は，大学院設置基準第9条第1項各号に沿ったふさわしい内容となっていますか。

[自己評価]

- ふさわしい内容である。
- 見直す必要がある。
- その他回答

点検・評価項目③

教育研究活動等の改善・向上，活性化につながる取組を組織的かつ多面的に実施し，教員の資質向上につなげていること。

＜評価の視点＞

- ・教員の教育能力の向上，教育課程や授業方法の開発及び改善につなげる組織的な取組を行い，成果を得ているか。
- ・教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために，組織的な取組を

行い、成果を得ているか。

- ・大学としての考えに応じて教員の業績を評価する仕組みを導入し、教育活動、研究活動等の活性化を図ることに寄与しているか。

⑥ 教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげるために、どの組織が、どのように取り組み、その結果どのような成果を得ているか記述してください。

年度末に兼担、非常勤を含む大学院教員を対象にFD研修会を実施しており、通信制大学院の特性の共有、大学院の現状報告と次年度へ向けた動向の確認、教育研究指導の実際、授業評価アンケートの結果等について各担当教員が報告・情報共有することで、授業方法の開発及び授業改善等につなげている。

⑥ 教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、どの組織が、どのように取り組み、その結果どのような成果を得ているか記述してください。

教員の研究活動については、研究科で刊行している「日本大学大学院総合社会情報研究科紀要」や「電子マガジン」の公開によりその成果を社会に還元している。

また、研究委員会や研究委員会コンプライアンス専門部会を設置し、個人研究費の「使用実績」、「実績報告書」及び「研究成果物」の提出状況、科学研究費助成事業（科研費）に係る間接経費の「使用実績」を報告し、研究費等に関する予算執行状況、研究費が適正に使用されているかを検証している。

⑦ 教員の教育活動、研究活動、社会活動等に関する業績について、どの組織が、どのように評価しているか記述してください。

教員に対する業績評価として、令和2年に一定の研究業績に対する加算基準を設けた学内ルールを制定した。また、定年間近な教員に対しても、積極的な研究が推進できるよう、業績等一定の要件により通信教育部研究所研究員へ採用ができる制度を定め、継続的な研究を可能としている。

今後、教員の教育研究活動、教学運営上の校務及び社会活動等を可視化する「活動評価表（仮称）」の作成を検討し、給与・賞与査定に活用すること、さらには教員の諸成果を、ホームページを通じて発信するなど、モチベーションの向上及び教員の諸活動の活性化を図りたい。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- ・教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑧ 教員組織に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

大学院総合社会情報研究科は3専攻及び後期課程で構成され、各専攻及び後期課程にそれぞれ1名の専任教員を主任として配置し、学部の兼担専任を含む計51名で組織している。教員組織の適切性の検証は、自己点検・評価の対象となるが、大学院運営委員会及び大学院分科委員会で検証している。また、大学院FDを組織し、報告・検証、改善を行っている。

2 長所・特色・問題点

なし

基準7 学生支援

1 現状分析

点検・評価項目①

学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。

<評価の視点>

- ・学生支援に関する大学としての方針に基づき、各種の学生支援体制を整備し、教員と職員がそれぞれ役割を果たしながら支援を行っているか。
- ・各種の学生支援に当たり、専門的な知識・能力や経験を有する者を含む必要なスタッフを配置しているか。
- ・学生支援に関する情報を学生に積極的に提供するとともに、その支援は学生の利用しやすさに配慮しているか。

[修学支援（学習面）]

- ・学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか（補習教育、補充教育、学習に関わる相談等）。
- ・障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。
- ・学習の継続に困難を抱える学生（留年者、退学希望者等）に対し、その実態に応じて対応しているか。

[修学支援（経済面）]

- ・学生に対する経済的支援（授業料減免、学内外の奨学金を通じた支援等）を、学生の実態等に応じて行っているか。

[生活支援]

- ・学生の心身の健康、保健衛生等に関わる指導相談を、学生の実態に応じて行っているか。
- ・学生の孤立を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）を必要に応じて行っているか。

[進路支援]

- ・各学位課程（学士課程、修士課程や博士課程等）や分野等における必要性、個々の学生の特性等に応じ、就職支援のほか、職業的自立に向けたキャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援を行っているか。

[その他支援]

- ・上記のほか、部活動・ボランティア活動等の正課外における学生の活動への支援等、必要に応じた支援を行っているか。

[学生の基本的人権の保障]

- ・ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応等、学生の基本的人権の保障を図る取組を行っているか。

[修学支援（学習面）]

- ㉞ 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるように、どのようにサポートしているか記述してください（補習教育、補充教育、学習に関わる相談）。

マナバフォリオというLMSを利用し、レポート提出及び指導の管理、また大学からの修学上の通知等を行い、学生が自律的に学修を進められる体制を整えている。各教員がシラバス上で各科目の参考になる書籍等を紹介することで、学生の単位修得上の活用における補完的役割を果たしている。学修に関わる相談は、電話又はメールにて教職協働で手厚く対応している。

- ㉟ 留年者について、どのように状況を把握し、どのように対応しているか記述してください。

在学生に対しては、博士前期課程は2年次に修士論文の題目届を6月と12月に提出させている。題目は指導教員が確認、承認した上での提出で、本届が出ていることが修了条件の目安となるため、提出がない学生はおおむね留年になることが確認できる。修了しない学生に対しては、3月に在籍延長願を送付し新年度を迎える前に提出させている。

- ㊱ 退学希望者について、どのように状況を把握し、どのように対応しているか記述してください。

退学を希望する者からの申出により知ることが多いのが実態だが、事前に特別研究指導教員に相談、報告し、了承を得ていることを前提とするため、相談していない場合は必ず指導教員にコンタクトを取るよう指導している。了承を得ている確認が取れ次第、退学願を送付し、本人と保証人の連署で押印の上、退学願を提出させている。退学は決裁により決定の後、本人にその旨通知し、会議体で報告している。

- ㊲ 留年者や退学希望者の減少に向けて、どのように取り組んでいるか記述してください。

例年の状況を教員、職員共に把握し、原因を共有するとともに、教職員の指導や対応が原因で留年や退学にならないように、普段からの指導や対応に問題がないか注意をしている。在学生はおおむね社会人であるため、就業状況を尊重しつつ、問合せに対しては傾聴し親身の指導を行っている。

[修学支援（経済面）]

- ㊳ 学生に対して、経済的支援（授業料減免、学内外の奨学金を通じた支援を除く）をどのように行っているか記述してください。

「日本大学校友会準会員診療費助成制度」は、大学内の怪我だけでなく、病気や怪我等を含め保険診療負担金を校友会が助成することを案内している。

[生活支援]

- ㊴ 学生の孤立化を防止するため、人間関係構築につながる措置（学生の交流機会の確保等）をどのように行っているか記述してください。

年に1回「オープン大学院」を開催し、オンラインや対面で、在学生・修了生によるトークセッションや研究・活動発表を通じて学生の交流を図っている。

また、特別研究（ゼミ指導）は、対面でも行うが、同じゼミの学生間で、休日や夜間など学生が集まりやすい時間にZoom等を活用し意見交換なども行っている。

[進路支援]

㉔ キャリア教育・キャリア形成支援等の進路支援をどのように行っているか記述してください。

学生は社会人が多いため、就職についての相談は実績があまりないが、希望者がいれば対応している。社会人ではない学生については、博士後期課程への進学希望であったり、就職先等進路が既に決まっていたりする学生も少なくない。

[その他支援]

㉕ 正課外における部活動・ボランティア活動等の学生の活動について、どのように活性化を図っているか記述してください。

社会人の学生が多いことや研究に係る時間も多く必要なため、部活動やボランティア活動の時間は確保することも難しい。また、一部の学生は、入学前から部活動も行っているため、活性化を図る支援は行っていない。

[学生の基本的人権の保障]

㉖ ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応等、学生の基本的人権の保障を図る取組について記述してください。

本学の人権侵害ガイドラインに基づき対応していく。ハラスメント等についてもポスターの掲示やパンフレットの配布などを行い、防止に努めている。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- ・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

㉗ 学生支援に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

通信教育課程という特性から、学生の居住地や生活スタイルが様々であり、学修方法も個人によって異なるため、状況に応じた柔軟な支援が求められる。学修支援の個別対応について

は、学生から申出のあった内容について、大学での支援が可能か、学修継続につながられるかを共通認識としている。

対応した学生の情報を担当課（学生課）で収集し、問題解決に当たっては、各課にある情報を集約・共有した上で、適切な対策を講じるよう努めている。

2 長所・特色・問題点

なし

基準 8 教育研究等環境

1 現状分析

点検・評価項目①

教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習、教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。

<評価の視点>

- ・教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習環境や教員の教育研究環境を適切に整備しているか。
- ・学生の学習や教員の教育研究活動の必要性に応じてネットワーク環境や I C T 機器を整備し技術的な支援を行う等により、それらの活用を促進しているか。
- ・学生及び教職員の情報倫理の確立を図るために取り組んでいるか。

⑧9 バリアフリーへの対応をしていますか。

[自己評価]

- 全ての校舎において対応している。
 一部の校舎において対応していない。
 その他回答

⑨0 施設、設備等の安全・衛生の確保に取り組んでいますか。

[自己評価]

- 全ての校舎において対応している。
 一部の校舎において対応していない。
 その他回答

⑨1 施設、設備等の維持及び規定に基づいた管理をしていますか。

[自己評価]

- 全ての校舎において対応している。
 一部の校舎において対応していない。
 その他回答

⑨2 学生や教員に対し、ネットワーク環境や I C T 機器に関する技術的な支援をどのように行っているか記述してください。

研究事務課にて所属の専門職員（S E）とともに随時技術的な相談応じ、必要な支援を行っ

ている。

また、教学運営や施策に必要な教育研究等環境整備に当たっては、「教学に関する基本方針」及び「学部基本計画」を基に、通信教育部内の学事方針を踏まえ、計画策定を行っている。施設設備においては、営繕管財会議、ネットワーク環境やICT機器については、コンピュータ管理運営委員会等で計画を策定している。また、施設・設備の保守委託業者の報告書等で次年度以降の設備計画により、緊急性、当該年度の経費状況を考慮した上で整備している。

㉓ 学生の自主的な学習を促進するために、どのように環境整備をしているか記述してください。

学事基本方針の下に必要な遠隔教育システムの整備やネットワーク負荷の増加に伴う回線増強や機器の更新などを、年次計画により整備した。令和3年度には、1号館の全教室にネットワークカメラ等を用いて教室の授業を同時配信・収録するシステムを整備し、授業動画の収録や同時配信授業に対応した。また、令和4年度には授業用PCを全て更新し、全てのPCから授業の配信、視聴ができるように整備した。

また、Wi-Fi機器を更新し、学生が個々の端末から快適にネットワークアクセスできるよう、整備している。併行して学生貸出し用PCを整備し、校舎内で自由に学修できる環境を整備した。なお、校舎外においても、全国に設置した「学習センター」にPCを設置し、指導員による学修相談や手続相談等に活用されている。

㉔ 学生に対し、情報倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

情報の漏えい及び紛失等を防ぐことを目的とした本部作成のリーフレットを毎年度学生や教職員に配布し、注意喚起するほか、通信教育部独自に情報漏えいの啓発を目的としたポスターを作成・掲出し、注意喚起を図っている。

㉕ 教職員に対し、情報倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

情報の漏えい及び紛失等を防ぐことを目的とした本部作成のリーフレットを毎年度学生や教職員に配布し、注意喚起するほか、通信教育部独自に情報漏えいの啓発を目的としたポスターを作成・掲出し、注意喚起を図っている。

また、個人情報の重要性を理解し、適切な取扱いを学び情報漏えいを防止することも目的とした、SD研修会を実施している。

点検・評価項目②

図書館サービス及び学術情報サービスを提供するための体制を備えていること。また、それらを適切に機能させていること。

<評価の視点>

- ・図書その他の学術情報資料を体系的に整備しているか。
- ・図書や学術情報資料の利用促進するための取組を図っているか。
- ・図書館には、学生及び教員の利用のために、必要な専門的な知識を有する職員を含む人員を適切に配置しているか。また、図書館等の施設環境が適切であるか。

⑨6 図書や学術情報資料の利用促進のために、どのように取り組んでいるか記述してください。

通信制の大学院のため、図書館は設置していない。入学時のガイダンスや大学院要覧で、本学全体で、各学部図書館分館は利用できることや、本学の電子ジャーナル・データベースについても大学院の学生も利用できることを周知している。

⑨7 司書有資格者の人数を記載してください。

該当なし

⑨8 図書館分館独自の取組について記述してください。

該当なし

点検・評価項目③

研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。

<評価の視点>

- ・研究に対する大学の基本的な考えに沿って、長期的な視点に立った支援や条件整備を十分にを行い、各教員の研究活動の活性化につなげているか（教員に対する研究費の支給、研究室の整備、研究時間の確保、専門的な研究支援人材の活用等の人的な支援、若手研究者育成のための仕組みの整備等）。
- ・研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め、かつ、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取組を行っているか。

⑨9 外部資金獲得のために、どのような学部等独自の制度や取組があるか記述してください。

外部資金を獲得するための取組として、日本大学研究助成金公募情報等通知システムを用いた外部資金の公募情報提供等、外部資金獲得に向けて様々な取組を実施している。科学研究費助成事業を獲得するため、過年度採択者等によるアドバイスや申請のポイント等の特設サイトに掲載・周知し、教員の研究計画調書作成の向上につなげている。

教学運営上必要とされる共同研究については、研究委員会や担当会議で審議の上、設置している。その他、令和7年度から新たに独自の競争的研究費を設置予定である。

⑩0 研究時間確保や研究専念期間保障のために、どのような制度や取組があるか記述してください。

全教員に机・椅子・書架等の什器とPC等を整備した個室の研究室を提供している。

また、「教員の勤務に関する内規」を遵守することで研究時間を確保している。さらに必要に応じて、研究資金によるポスト・ドクター（PD）を採用し、研究の負担を分担している。

⑩1 若手研究者育成のために、どのように取り組んでいるか記述してください。

研究資金によるポスト・ドクター（PD）を採用している。

⑩2 RAやPDを置いている場合、どのようなガイダンスや研修を実施し、どのような業務をさせているか記述してください。

置いていない。

- ⑩ 学生に対して、研究倫理を遵守させるために、どのように取り組んでいるか記述してください。

入学時のガイダンスで研究科独自の研究倫理教育を行うほか、博士前期課程では、大学指定の研究倫理教育資料を通読させている。博士後期課程では研究着手前に所定の APRIN e-Learning 教育を受講させている。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

- ⑩ 研究等環境に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

研究環境整備については、研究委員会やコンピュータ管理・運営委員会、担当会議等で必要に応じ審議・点検を行っている。研究費や研究倫理教育については研究委員会や研究委員会コンプライアンス専門部会で点検・評価を行っている。研究環境については、安心安全で快適な研究環境を提供する観点で点検し、研究費や研究倫理については、不正防止の観点から点検を行っている。

改善事例としては、1号館の全教室から授業を同時配信・収録するシステムの整備、研究室設置の椅子交換、ネットワーク負荷に伴う回線増強や機器の更新、授業用PC更新、教員用PC更新、Wi-Fi 機器により学生個々の端末から快適にネットワークアクセスの整備、学生貸出し用PCを整備、指導員による学修相談や手続相談等に活用するため全国の「学習センター」にPCの配置及び更新や建屋間のネットワークの10G（高速化）対応などである。

2 長所・特色・問題点

【長所】

通信教育課程の中でも希少な独自キャンパスを有しており、キャンパス内にはネットワークカメラやWi-Fi設備、オンライン授業管理用の編集室といった利便性の高い施設となっている。

特に近年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、キャンパス内のネットワーク環境やICT機器の整備を行っており、授業用PCや教員用PCの更新や建屋間のネットワークの10G（高速化）対応といった、設備の定期的な更新等を、年次計画を定めた上で整備している。

基準9 社会連携・社会貢献

1 現状分析

点検・評価項目①

社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取組を実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。

<評価の視点>

- ・学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取組を行い、社会に対し周知しているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する取組により、地域や社会の課題解決等に貢献し、学部等の存在価値を高めることにつながっているか。
- ・社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知させる取組を行っているか。

- ⑩ 社会連携・社会貢献に関する情報を社会に対し周知するために、情報にアクセスしやすいように特設サイトを開設しているか。

[自己評価]

■特設サイトを開設している。

□特設サイトを開設していない。

大学院総合社会情報研究科では、毎年公開講座を開設している。通信教育部では、課外研修講座として「日本語教師養成プログラム」（2年制）を開設している。

□その他回答

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

- ⑩ 社会連携・社会貢献に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

通信教育部及び大学院総合社会情報研究科の設置目的として、「社会人教育」という社会貢献が設定されており、その主たる目的のために、通信教育部では、通信教育学務委員会を筆頭に学務委員会、学生生活委員会、研究委員会等が連携するほか、自己点検・評価委員会を設置している。

大学院総合社会情報研究科では、分科委員会を中心に、関連する通信教育部の委員会及び自己点検・評価委員会が連携をし、点検・評価を行っている。

点検は、通信教育部及び大学院総合社会情報研究科が提供する教育内容が社会のニーズにマッチしているかどうかを点検・評価を軸に、通学課程と連携しながら行っている。

2 長所・特色・問題点

【長所】

通信教育部及び大学院総合社会情報研究科における最大の社会貢献は、「社会人教育」の提供である。本通信教育部は在学生の約半数が社会人であるため、円滑な学修が行えるよう、多様な学修方法を提供している。

特に、近年では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる授業の拡充を積極的に行っている。